

## 外科系歯科学

【通年】 月 1 伊賀弘起

ここで紹介された資料は**蔵本 2 階授業サポートナビコーナーにあります**ので、どうぞご利用ください。  
(同じ本が 3 冊以上ある場合は★の場所にもありますので、そちらもご覧ください)

### 図書

授業のテーマをつかみ事前学習や復習を効率的に進めるために、これらの図書を読むことから始めましょう

□ **口腔外科学 第 3 版/白砂兼光・古郷幹彦 編 医歯薬出版 2010**

→ 1988 年以來の代表的な口腔外科学の参考書

【497.3||Ko】

□ **口腔顎顔面外科学専門用語集/社団法人日本口腔外科学会 編 医歯薬出版 2011**

→ 口腔外科に関連する学術用語とその解説から成る専門用語集

【497.3||Ko】

□ **“医療連携”に役立つ有病者歯科マニュアル/白川正順, 今井 裕, 川又 均, 石垣佳希 編 医学情報社 2013**

→ 歯科一般臨床家と歯科衛生士あるいはコ・メディカルのスタッフを対象として有病者や高齢者の歯科医療を円滑に推進するための参考書。特によりよい「チーム医療」をすすめるための解説が充実。

【497.2||Ir】

□ **新・歯科衛生士マニュアル 口腔外科学・歯科麻酔学/池邊哲郎, 升井一朗, 吉増秀實, 伊賀弘起 編 クインテッセンス出版 2013**

→ 歯科衛生士の新しい教科書として出版され、イラストや写真を多く用いて分かりやすく解説されている。また各項目または章末には“歯科衛生士の対応”を設け、臨床実習はもちろん、卒後の臨床活動にも即応できる内容となっている。

【497.3||Ko】

□ **認知症高齢者の口腔ケアの理解のために/ (社) 日本口腔学会 編 財団法人口腔保健協会 2011**

→ 認知症高齢者、在宅高齢者を介護する介護者を対象に口腔ケアの重要性、誤嚥性肺炎を予防するための実技等を具体的に解説。

【497.9||Ni】

□ **歯科衛生士版 改訂 全身管理と救急蘇生法 / 渋谷 鋲 監修 学際企画 2010**

→ 歯科衛生士の業務内容が拡大する中で、頭からつまさきまで観察できる歯科衛生士として必要な情報が掲載されている。

【497.2||Ze】

□ “ねころんで読める” WHO患者安全カリキュラムガイド/日本医療マネジメント学会 監修 メディカ出版 2013

→ WHO患者安全カリキュラムガイドのエッセンスを凝縮した医療安全学習の教科書。

【498.163||Ir||2】

□ 最新歯科衛生士教本 臨床検査/全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版 2012

→ 歯科衛生士に必要な臨床検査の基本的知識を解説した教科書。

【497.9||Sa】

## Web

授業のテーマに関連したデータベースやサイトです

□ 公益社団法人日本口腔外科学会【<http://www.jsoms.or.jp/>】

→ 口腔外科関連の中心的団体である日本口腔外科学会のHP。学術視覚教材の貸し出しや様々な口腔外科関連の診療ガイドラインのPDF ファイルも利用可能。

□ 一般社団法人日本口腔ケア学会【<http://www.oralcare-jp.org/index.html>】

→ 口腔ケアに関する様々な情報を提供しており、口腔ケア用語の解説がある。

□ 日本口腔科学会【<http://stomatol.umin.jp/>】

→ 日本医学会の分科会で、歯科関連の各専門領域の研究者・教育者・臨床医から成る学際的な学術団体のHP。日本口腔科学会雑誌（和文誌）、Oral Science International（英文誌）の電子版も入手できる。